

取扱説明書

テラダ 水中ポンプ SG-150C/SA-150C SX-150/SXA-150/SH-150



もくじ

安全上のご注意	1～3
各部の名前とその働き	4～6
お使いになる前に	6～10
運転のしかた	10～12
お手入れと点検	13～14
修理を依頼する前に	14～15
仕様	16
保証とアフターサービス	16
保証書	17～18
営業所一覧	19

- このたびは、テラダ水中ポンプをお買い上げいただきましてありがとうございます。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- 本書に記載されていること以外には行わないでください。事故や故障の原因になります。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 - ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 **注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

	△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合はさし込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警告	
	● ぬれた手で電源プラグに触れないこと 感電の原因になります。
	● 修理技術者以外の方は分解したり修理や改造をしないこと 異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。
	● 人や生き物が入っている水中でポンプを運転しないこと 感電の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告

	<ul style="list-style-type: none">● アース接続を必ず行うこと アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アース接続が不完全な場合は、感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 専用の漏電しゃ断器を設置すること (AC100V 15A 定格感度電流15mA) 漏電しゃ断器の点検は漏電しゃ断器の取扱説明書に従って行ってください。 漏電のときに感電する恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグの刃の周囲にほこりが付着していないか定期的に確認し、 接続は刃の根元まで確実に差し込むこと ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電・火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグや電源ケーブルがいたんだり、コンセントへの差し込みが 緩いときは使用しないでください 感電・ショート・発火の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 漏電しゃ断器が作動した場合やその他の異常時には、電源プラグを 抜いてお買い上げの販売店に連絡すること そのまま無理に使用すると、感電・火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 掃除や点検をするときは、電源プラグを抜くこと 感電したり、ケガの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 電気設備や配線工事は電気工事店に依頼すること 誤った配線工事は、感電や火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 定格電圧・周波数で使用してください (銘板にて確認願います) (銘板位置はP 4～P 6「各部の名前とその働き」参照) 性能の低下や故障につながります。
	<ul style="list-style-type: none">● ポンプに幼児・子供が触れないよう安全な場所で使用してください ケガの原因になります。

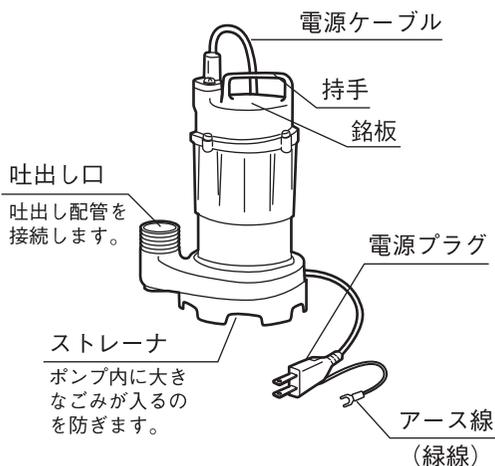
安全上のご注意

⚠ 注意

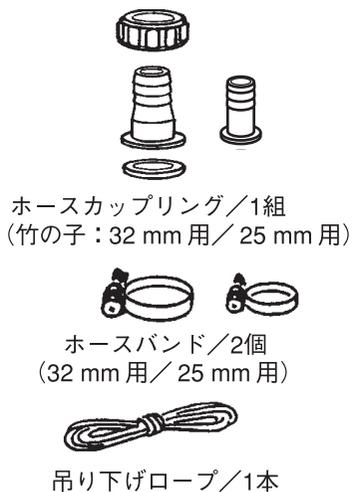
	<ul style="list-style-type: none">● 電源ケーブルを傷つけないこと 加工したり、引張ったり、束ねたり、重いものをのせたり、はさみ込んだり、車にひかれたりすると、電源ケーブルが破損し、感電・火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持って抜かないこと 必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき感電・火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 40℃以上のお湯、土砂を含んだ汚水、ガソリン、灯油、化学薬品等には使用しないこと ポンプの故障や火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 飲料水には使用しないこと 人体に悪影響を及ぼすことがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● ポンプは樹脂でできていますので、叩いたり、落としたり、火気に近づけないこと ポンプの故障や感電・火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 電源は専用コンセントを使用すること 電源ケーブルは途中で接続したり、延長ケーブルの使用やタコ足配線（他の機器と併用）した場合には、感電や発熱、火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 使用されないときは電源プラグをコンセントから抜き、ポンプを水中から出すこと 絶縁が劣化すると漏電、火災の原因になります。

各部の名前とその働き

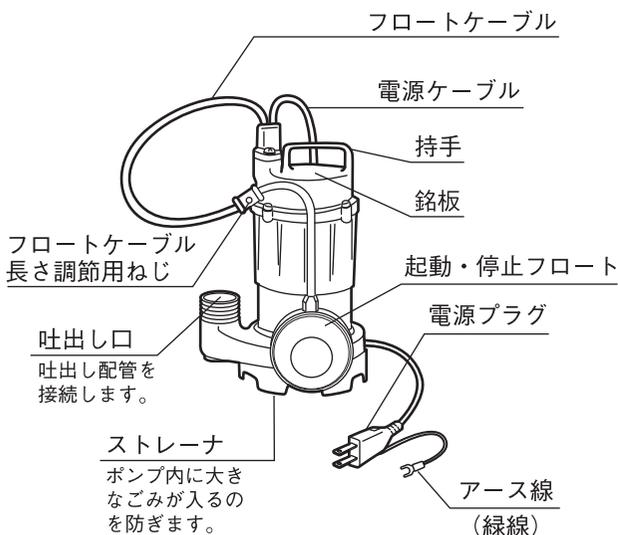
SG-150C



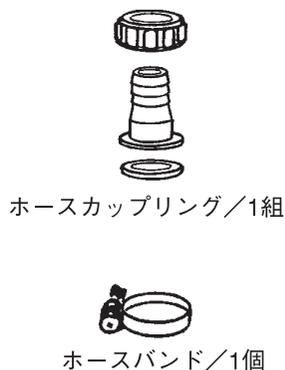
付属品



SA-150C



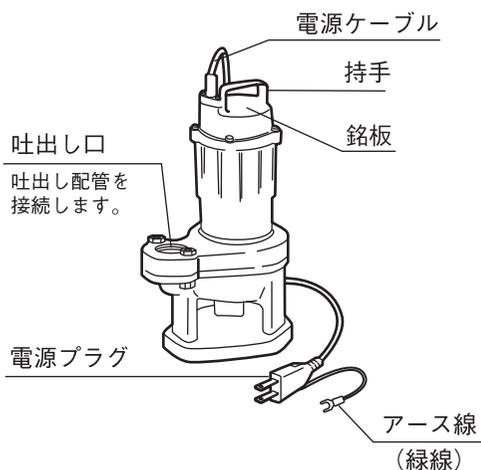
付属品



各部の名前とその働き

SX-150

付属品



竹の子／1個



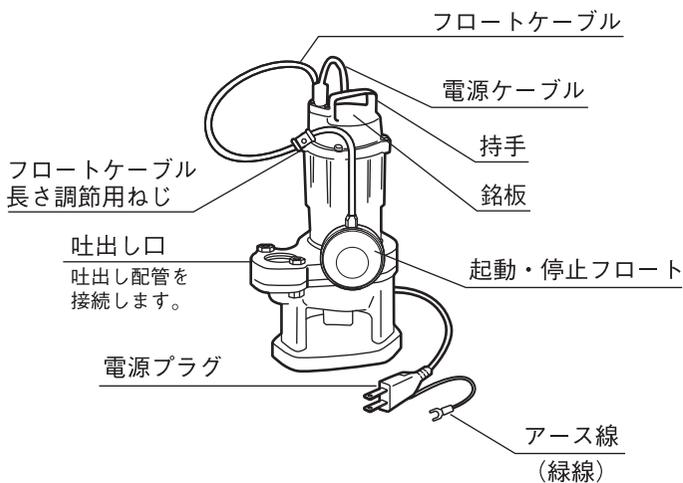
ホースバンド／1個



吊り下げロープ／1本

SXA-150

付属品

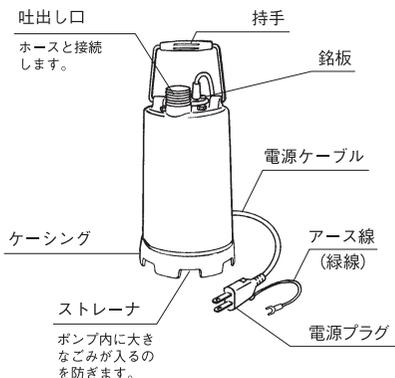


SXA-150には付属品はありません

各部の名前とその働き

SH-150

付属品



ホースカップリング／1組
(竹の子：25 mm 用／15 mm 用)



ホースバンド／2個
(25 mm 用／15 mm 用)

お使いになる前に

お願い

- 使用水温は0～40℃の範囲です。
凍結の恐れのある場所や40℃を超える水中での使用は故障や動作不良の原因になります。
- 水以外の液体には使用しないでください。
- ポンプを空気中で運転しないでください。ポンプ等の故障の原因になります。
- スラリー（微粒子）・塩分・土砂等の異物を含んだ水を揚水すると、ポンプ寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- 電源ケーブルを持ってポンプを吊り下げないでください。故障の原因になります。
- 樹脂部分には、有機溶剤（シール剤、接着剤）や油分がつかないようにしてください。割れる場合があります。
- 起動回数は1時間に6回以内になるようにしてください。保護装置が作動し、ポンプが停止することがあります。
- 延長コードをご使用になる場合は下記の範囲でご使用ください。
下記より細いコードを使用されますと、故障の原因となります。

コードの太さ	使用可能長さ
0.75mm ²	15mまで
1.25mm ²	25mまで

- 発電機を使用される場合は、目安としてポンプの消費電力の3～5倍の容量 (KVA) のものをご使用ください。
- 仕様は改良などのため、予告なく変更することがあります。

お使いになる前に

標準仕様

△ 注意 水以外の液体には使用しないでください。

S G形・S A形

取扱液	液 質	清水・浄化槽処理水程度の汚水
	液 温	0～40℃（凍結のないこと）

S X形・S X A形

取扱液	液 質	異物を含む浄化槽処理水程度の汚水		
	液 温	0～40℃（凍結のないこと）		
	異物の 大きさ mm	球状の径	28以下	
		繊維の長さ	120以下	

S H形

取扱液	液 質	清水
	液 温	0～40℃（凍結のないこと）

確認・テスト

- ご注文通りのものかどうか銘板を見てご確認ください。
特に50Hz用と60Hz用にご注意ください。
- 破損箇所やねじのゆるみがないかご確認ください。
- 使用する前にアースを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込んで、ポンプが正常に起動するかテスト運転をしてください。
(気中運転で確認する場合は5秒以内にしてください)
自動形の場合には電源に接続後、起動・停止フロートを垂直に起こしてください。フロートを下げればポンプは停止します。
- 確認後電源プラグを抜くか、電源を切ってください。

お使いになる前に

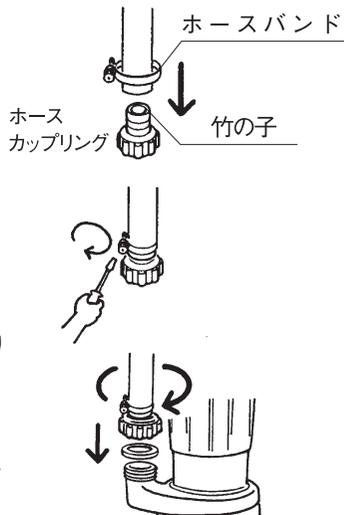
配管のしかた

△ 注意 本体の樹脂部分には、シーラ剤や接着剤がつかないようにしてください。
割れる場合があります。

SG-150C、SA-150C

ホース配管の場合

1. ホースにホースバンドを入れ、ホースカップリングに竹の子を通し、竹の子にホースを差し込んでください。ホースは竹の子の根元までしっかりと差し込んでください。
※使用するホースの外径に合うホースバンドを使用して
ください。
※ホースの差し込みが不十分ですと運転中にホースがはずれる恐れがあります。
2. ホースバンドでホースを締め付けてください。
※ホースバンドのねじを工具でまわしてホースをしっかりと固定してください。
3. ホースカップリングを吐出し口に取り付けてください。
※ホースカップリングパッキンを入れしっかりと締め付けてください。



お使いになる前に

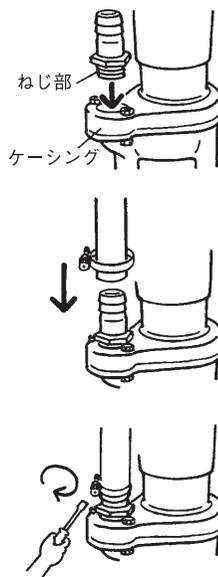
配管のしかた

△ 注意 本体の樹脂部分には、シーラ剤や接着剤がつかないようにしてください。割れる場合があります。

SX-150

ホース配管の場合

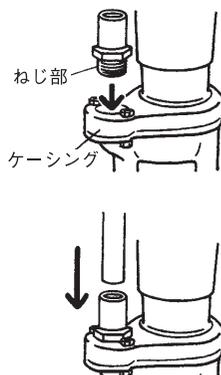
1. 竹の子のねじ部にシールトテープを巻き、ケーシングにねじ込んでください。
2. ホースにホースバンドを入れ、竹の子にホースを差し込んでください。ホースは竹の子の根元までしっかりと差し込んでください。
※使用するホースの外径に合うホースバンドを使用してください。
※ホースの差し込みが不十分ですと運転中にホースがはずれる恐れがあります。
3. ホースバンドでホースを締め付けてください。ホースバンドのねじを工具でまわしてホースをしっかりと固定してください。



SX-150、SXA-150

硬質塩化ビニール配管の場合

1. バルブ用ソケット（市販品）のねじ部分にシールトテープを巻き、ケーシングにねじ込んでください。
2. バルブ用ソケットのパイプ挿入部に塩化ビニール用接着剤を塗り、パイプを挿入してください。パイプはバルブ用ソケットの根元までしっかりと差し込んでください。



お使いになる前に

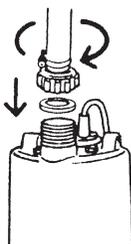
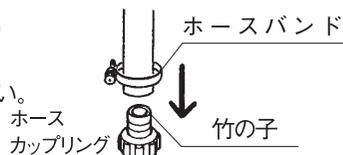
配管のしかた

⚠ 注意 本体の樹脂部分には、シーラ剤や接着剤がつかないようにしてください。
割れる場合があります。

SH-150

ホース配管の場合

1. ホースにホースバンドを入れ、ホースカップリングに竹の子を通し、竹の子にホースを差し込んでください。
ホースは竹の子の根元までしっかりと差し込んでください。
※使用するホースの外径に合うホースバンドを使用してください。
※ホースの差し込みが不十分ですと運転中にホースがはずれる恐れがあります。
2. ホースバンドでホースを締め付けてください。
※ホースバンドのねじを工具でまわしてホースをしっかりと固定してください。
3. ホースカップリングを吐出口に取り付けてください。
※ホースカップリングパッキンを入れしっかりと締め付けてください。



運転のしかた

⚠ 警告



- 人や生き物が入っている水中でポンプを運転しないこと
感電の原因になります。

運転のしかた

手順

1. ポンプを水中に沈めてください。

- ポンプの持手にロープを結び付けて、ロープを持ってゆっくりと水中に入れて運転してください。
(電源ケーブルやホースを持たないでください。断線や破損の原因になります)
- ポンプ全体を水中に入れて運転してください。



2. ポンプを垂直に安定させてください。

- 水底が泥や砂などで軟弱な場合は、ポンプが沈下したり倒れたりしないようにポンプの底部にブロック等を敷いてポンプを据え付けてください。
- ポンプ据付位置の基礎工事はポンプ及び配管の重量に十分耐えられるだけの面積と厚みをもたせてください。
- 大きな固形物が多い場合は、ポンプのまわりやフロートのまわりに金網などの「ごみよけ」を取り付けてください。



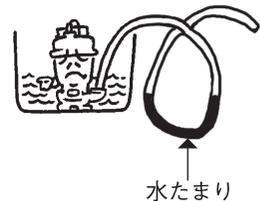
3. 配管の先端が水中に入らないように固定してください。

- 配管の先端が水中に入っていると、ポンプ停止時にサイホンの作用で水が逆流します。
- 配管の先端が水面より低い位置の場合、ポンプ停止時でもサイホンの作用で水が流出します。



4. ホース中間の曲がりもなくしてください。

- ホース (ホースリール) 中間に水が溜まっている場合などでホースをポンプに配管して水中に入れるとポンプ内に空気だまりができてポンプは回っているが水が出ない状態になります (エアロック現象)
- ホースを外した状態で、ポンプのみ水中に入れてから水中でホースを配管接続するなどしてポンプ内の空気だまりをなくしてから運転してください。



△ 注意

●市販のシャワーノズルなどをご使用される場合、締切り運転回数はできるだけ少なくし、締切り状態での連続運転は5分以内にしてください。
※締切り運転をされた場合、ポンプ内圧が上昇しケーシングパッキン部やケーブル取付ねじ部 (SH-150) より外部に漏水することがあります。電動機内部へ浸水することはございませんが、漏水が起きた場合はねじ部の増し締めをお願いします。

運転のしかた

手順

5. アース線は必ず接続してください。
 ●ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。



6. 起動・停止フロートを調整してください。(自動形のみ)

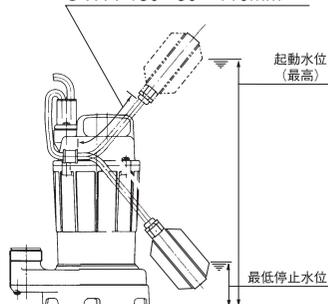
- (1) 起動・停止フロートと水槽の側壁との間はフロートの作動に支障のない距離にしてください。

- フロートが側壁にふれると作動せず、水槽の水があふれることがあります。
- フロートが側壁に近いと、ごみが集まり誤作動することがあります。

- (2) 水槽に流れ込む水が直接フロートにかからないよう据え付けてください。

- (3) 起動水位、停止水位は下表の範囲内にて調整可能です。

S A-150 C 40~110mm
 S X A-150 50~110mm



図はSA-150Cを示す

(単位mm)

形式	最低停止水位	起動水位	
		標準	最高
SA-150C	100	—	300

(単位mm)

形式	最低停止水位	起動水位	
		標準	最高
SXA-150	170	—	400

7. 電源プラグを専用コンセントに差し込むか、専用の電源を入れて運転を行ってください。
 ●必ず正常にポンプが運転していることを確認ください。

8. 非自動形の最低起動水位、連続運転最低必要水位は下表のとおりです。

形式	最低起動水位	連続運転可能最低水位
SG-150C	55mm	180mm
SX-150	139mm	264mm
SH-150	45mm	45mm

※直射日光の当たる場所へのポンプの設置は避けてください。

お手入れと点検

⚠ 警告



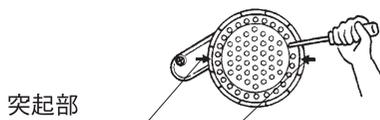
- 掃除や点検をするときは、電源プラグを抜くこと
感電したり、ケガの原因になります。

点検要領

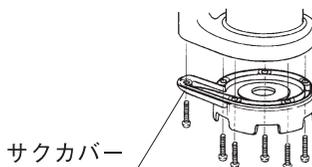
1. ケーシングと羽根車の掃除

(SG-150C・SA-150C)

- (1) ストレーナを取りはずしてください。
ポンプを横にし、ストレーナ突起部(2ヶ所) 近くの外周穴にドライバーを差し込み、ポンプ本体の足をテコにしてこじると取りはずしできます。
- (2) サクカバーを取りはずしてください。
サクカバー取付ねじ(6本)をゆるめて取りはずしてください。
※以下の要領は(共通)参照。



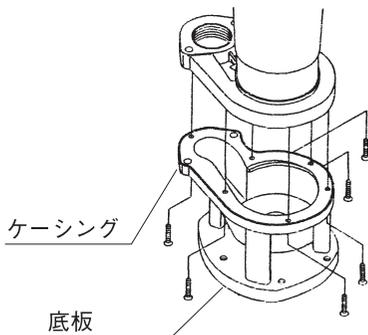
突起部



サクカバー

(SX-150・SXA-150)

- (1) ケーシングを取りはずしてください。
ポンプを横にし、ケーシング取付ねじ(6本)をゆるめて取りはずしてください。
底板は、はめ込み式になっているのでケーシングに付けたままではずしてください。
※以下の要領は(共通)参照。

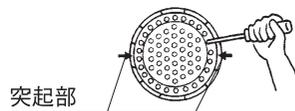


ケーシング

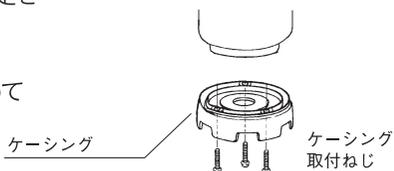
底板

(SH-150)

- (1) ストレーナを取りはずしてください。
ポンプを横にし、ポンプ底面のストレーナ突起部(2ヶ所) 近くの外周穴にドライバーを差し込み、ポンプ本体の足をテコにしてこじると取りはずしできます。
- (2) ケーシングを取りはずしてください。
ポンプを横にし、ケーシング取付ねじ(3本)をゆるめて取りはずしてください。
※以下の要領は(共通)参照。



突起部



ケーシング

ケーシング
取付ねじ

お手入れと点検

点検要領

(共通)

- (1) ごみを取り除いてください。
ケーシング内や羽根車につまったごみ等を取り除いてきれいに洗浄してください。
- (2) 元どおりに組立ててください。
洗浄後は手で羽根車が軽く回ることを確認のうえ、分解の逆の手順で組立ててください。
2. 掃除をするときは、柔らかい布でふいてください。
ベンジン、ガソリン、シンナー、クレンザー、洗剤（酸・アルカリ）、熱湯などは使わないこと。
傷がついたり、破損の原因になります。
3. 長期保管される場合は水洗い（内面、外面）を十分に行ったうえで完全に乾燥させてから保管するようにしてください。
4. 絶縁抵抗・メカニカルシールの点検
3,000時間毎に、お買い求めの販売店に依頼ください。
メカニカルシールは消耗部品です。摩耗すると電動機内部に浸水し漏電します。
交換目安は清水時3,000時間となりますが、使用液の状態により大幅に短くなる場合がございます。
5. 部品に破損等がある場合は交換が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。

修理を依頼する前に

⚠ 警告



- 修理技術者以外の方は分解したり修理や改造をしないこと
異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。



- 漏電しゃ断器が作動した場合やその他の異常時には電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に連絡すること
そのまま無理に使用すると、感電・火災の原因になります。

修理を依頼する前に

お願い

「故障かな?」と思ったら、まず電源プラグをコンセントより抜き、下記の内容をお調べください。それでも具合の悪いときは、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

販売店へ連絡するときは、ポンプ銘板に記載の形式・製造番号、お買い上げ年月日と故障状況をお知らせください。

故障状態	故障原因	対策・処置
ポンプが起動しない	停電している	電気工事店または電力会社に連絡する
	電圧が低すぎる	
	電源プラグのはずれ	確実に接続する
	電源回路の接続不良	接続部分を点検する
	羽根車にごみかみこみ	13ページの点検要領にそってごみを取り除く
	電動機内部に浸水し漏電している	新品交換
ポンプが運転中に停止する	気中運転となり電動機が異常発熱している	水位を上げる
	水温が高い	水温を下げる
	電圧が低下している	延長ケーブルの使用や、たこ足配線による電圧降下がないか確認する
	50Hz用ポンプを60Hzで使用	周波数に適した製品を使用する
	羽根車にごみかみこみ	13ページの点検要領にそってごみを取り除く
吐出し量が少ない、又は水が出ない	ストレーナにごみが付着	13ページの点検要領にそってごみを取り除く
	ホースがつまっている	ホースがつぶれていないか点検し、曲がりを少なくする
	ポンプ内のつまり	13ページの点検要領にそってごみを取り除く
	空気を吸い込んでいる	水位を上げる
	ホース中間で水がたまっている(エアロック)	11ページ4.の要領にそって空気だまりをなくす
	ポンプ能力以上の揚程となっている	銘板値を確認し配管条件を見直します
	電圧が低い	延長ケーブルの使用や、たこ足配線による電圧降下がないか確認する
自動運転しない ※(SA形・SXA形のみ)	フロートが側壁等に接触	接触しない場所に据え付ける
	フロート周囲にごみ	ごみを取り除く
ホースからの水漏れ	ホースカップリング用パッキンの入れ忘れ(SG・SA・SH形)	パッキンの挿入
	ホースカップリング用ナット、竹の子、パッキンの順番が間違っている(SG・SA・SH形)	正しい順番に入れ直す

仕様

口径 mm	形 式	周波数 Hz	吐出し量 ℓ/min	全揚程 m	出力 W	電圧 V	相	消費電力 W	質量 kg
32	SG-150C	50	80	5	150	100	単相	305	4.3
		60	80	5	150	100	単相	301	4.3
32	SA-150C	50	80	5	150	100	単相	305	4.6
		60	80	5	150	100	単相	301	4.6
40	SX-150	50	100	3.5	150	100	単相	305	4.5
		60	100	3.5	150	100	単相	301	4.5
40	SXA-150	50	100	3.5	150	100	単相	305	4.8
		60	100	3.5	150	100	単相	301	4.8
25	SH-150	50	最大60	最高15	150	100	単相	380	4.9
		60	最大60	最高15	150	100	単相	350	4.9

注) 質量には電源ケーブル、付属品の質量は含んでいません。

保証とアフターサービス

修理を依頼するときは

ご使用中に異常が生じたときは、ご使用を中止し電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理には専門の技術が必要です。

(保証期間中は)

修理に関しては保証書(17~18ページ)をご覧ください。

保証書の規定に従って販売店にて修理を受付させていただきます。

(保証期間が過ぎているときは)

修理可能な場合には、ご要望により有料で修理させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談やご不明な点はお買い上げの販売店または、お近くの当社営業所にご相談ください。なお、所在地は19ページをご参照ください。

保証書

品名 テラダ水中ポンプ	形式 SG-150C、SA-150C SX-150、SXA-150、SH-150
★お客様お名前 様	保証期間 ※お買上日 年 月 日から 1年または、運転3,000時間（本書に記載のご使用方法の場合に限る）の短い方 レシートまたは、販売証明書がない場合は 保証対象外となります。
★お客様ご住所	★TEL () -
※取扱販売店名、住所、TEL	
	

保証期間の3,000時間は本書に記載されたご使用方法の場合を対象としています。
スラリー（微粒子）・塩分・土砂等の異物を含んだ水でのご使用は、保証対象外となりますのでご
注意ください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った
正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店にて修理
を受付いたしますので、修理依頼に際して本書をご提示ください。

★印、※印欄に記入のない場合は、無効となりますので必ずご確認ください。

保証書

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ご購入後の使用場所の移動、落下、輸送等による故障または損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両・船舶への搭載など、一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 異常水質、異常水圧などによる故障および損傷。
 - 電源プラグの水濡れによる故障。
 - 仕様変更など。
- 出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

●修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合はお買い上げの販売店または、お近くの当社営業所にお問い合わせください。

補修用機能部品の最低保有期間

テラダ水中ポンプの補修用機能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。補修用機能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

営業所一覧

アフターサービスはお買い求めの販売店へ

- 東京支社 〒120-0043 東京都足立区千住宮元町13-13 千住MKビル9F
TEL 03-6625-8558(代) FAX 03-6625-8557
- 神奈川営業所 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢2125-1-101
TEL 042-774-3670(代) FAX 042-774-3671
- 北関東営業所 〒360-0015 埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28
TEL 048-523-2654(代) FAX 048-525-5216
- 仙台営業所 〒984-0011 宮城県仙台市若林区六丁目の目西町3-33
TEL 022-287-0231(代) FAX 022-287-0235
- 名古屋営業所 〒457-0004 愛知県名古屋市長区中江2丁目2番9号
TEL 052-819-0188(代) FAX 052-819-0180
- 静岡営業所 〒420-0884 静岡県静岡市葵区大岩本町26-32 パークサイド城北1F-C
TEL 054-200-1002(代) FAX 054-200-1003
- 大阪支社 〒540-0011 大阪府大阪市中央区農人橋二丁目1番30号 谷町八木ビル9F
TEL 06-6940-1177(代) FAX 06-6940-1178
- 岡山営業所 〒700-0971 岡山県岡山市北区野田三丁目9-10-2 岡崎事務所1F東
TEL 086-245-4497(代) FAX 086-245-7246
- 高松営業所 〒761-8078 香川県高松市仏生山町甲836番地1カテックビル1F101号
TEL 087-888-5118(代) FAX 087-888-5119
- 福岡営業所 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南3-10-23 第5西田ビル2F-E
TEL 092-411-7555(代) FAX 092-411-7585
- 広島営業所 〒733-0861 広島県広島市西区草津東1丁目1-6 第3松本ビル1F
TEL 082-271-6505(代) FAX 082-271-6506
- お電話でのお問い合わせ 月～金 9:00～12:00 13:00～17:00 (土、日、祝日、大型連休を除く)

※上記一覧は、取扱説明書作成時点の情報です。最新の情報は下記に記載のURLからご確認できます。



株式会社 寺田ポンプ製作所

〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3番17号
TEL 0745-52-5101(代) FAX 0745-23-0013

E-mail: info@teradapump.co.jp

<https://www.teradapump.co.jp/>